

令和6年5月1日（水）

富士会総会挨拶

令和6年度富士会総会開会にあたり、一言、挨拶を申し上げます。

まず、富士会とは、「生徒会・農業クラブ及び家庭クラブの諸活動を円滑に推進するための調整機関で生徒会本部役員、農業クラブ総務役員、家庭クラブ総務役員により構成する。」とみなさんが持っている大農ノートにある会則に記載されています。つまり、本校全校生徒が会員であり、高校生活を送るうえで、自分たちの自主的活動を行う組織です。

現在、愛媛県下に農業クラブを設置している学校は分校を含めて13校ありますが、富士会のように生徒会、家庭クラブと農業クラブが一つとなって組織されているのは、おそらく本校だけです。3つの団体の横のつながりを一層、大切にしていきたいと思えます。

皆さん、御存知と思いますが、戦国武将の毛利元就が三人の子に残した「三矢の訓（おしえ）」があります。「一本なら簡単に折れてしまうが、三本束ねれば簡単には折ることはできない。三本の矢のように三人が力を合わせれば毛利家は安泰なのだ」と一家の結束を誓わせました。

本校も生徒会、農業クラブ、家庭クラブが一致団結となって、100周年となる今年度の各種行事に取り組み、協力して行うことで、本校の安泰は約束されるものと思えます。

総会では、それぞれの会の昨年度の行事及び決算報告、今年度の行事予定及び予算案審議が行われます。一人一人が自覚をもって真剣に耳を傾け、充実した会となることを願ひまして挨拶といたします。